

2009年度

科目名	教育実習指導(社会)		
担当教員	三宅 奎介、浅野 宜之		
配当	人社4	コード	80851
開期	集中通年	講時	集中0限
		単位数	1
授業テーマ	中・高等学校教育実習の意義理解と教職への一体感の形成について		
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中・高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する授業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。従って、教育実習の事前授業では「教育実習の意義・内容・方法」を、事後授業では「体験に基づく教職観」について研究し、その修得を図る。		
成績評価法	①授業後のレポート(50%) ②教育実習終了報告書・実習校評価(30%) ③授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。		
テキスト	「子どもがつながる学級集団づくり入門」 新保真紀子著 明治図書		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	①授業の開講日に注意 ②教育実習の手続きを確実に ③「実習後報告書」の提出 ④授業は2名の教員で実施		
講義計画			
第1回	教職課程・教育実習の意義を理解する。		
第2回	実地研究の観点や授業指導の心得等々について理解を深める。		
第3回	実地研究の観点や学習指導案作成等々について理解を深める。 実習手続きの指導(教務課)		
第4回	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。		
第5回	中学校 社会科の教育実習について		
第6回	中学校 社会科の学習指導について		
第7回	中学校 社会科の学習指導について		
第8回	実習前の確認事項について		
<教育実習> *実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前 *中学校または高等学校校の教育実習(専任教員による訪問指導) *実習終了報告書の提出			
第9講	実地研究のまとめ・発表と講評指導。		
第10回	実習後の報告および反省		